

# 履修科目一覧表

	授業形態	教育科目名	担当教員	科目内容	単位数	週授業時間数				時間数
						1 年次		2 年次		
						前期	後期	前期	後期	
一般科目	◇	コンピュータ演習	頼實 一全	Windows、インターネット、およびオフィスソフト（Word、Excel、PowerPoint）の実用的な利用方法を習得し、ビジネスの現場で役立つ情報リテラシーを習得する。	2		2			30
	◇	キャリアマナーⅠ	長澤さおり	『あなたと一緒に働きたい』就職試験までにそう言ってもらえるように、しっかりとビジネスマナー、サービス接遇の基本を学びます。気持ちの持ち方ひとつで、表情や行動が変わり、周囲に与える印象もぐっと向上します。人に喜んでもらえる対応ができるように、自分をみつめ、知識と教養を身につけていきましょう（サービス接遇2級取得を目指す。）	2	2			30	
	◇	キャリアマナーⅡ			2		2		30	
	◇	キャリアデザイン	頼實 一全	自分自身の職業人生やキャリアについて、自らが主体となって構想・設計し、実現していくためにどのように行動すればよいか、セルフワークやチーム学習を通じて気づき学んでいく。	2	2			30	
	◇	RS 特別講義	未 定	「建築」「動物」の分野を超えた幅広い学外有識者を招聘し、様々な知識教養を身につけ、幅広い視野を養うことを目的とする。	2			2	30	
専門科目	◇	動物飼養管理学Ⅰ	湯浅 倫枝	哺乳類、鳥類、爬虫類などを含む動物の適正飼養及びペットビジネス、動物愛護の普及に関する知識、動物関係法令の習得を目標とし、同時に日本愛玩動物飼養管理士（1、2級）資格取得を目標とする。	4	2	2			60
	△	動物飼養管理学Ⅱ	奥田 宏健	社会的期待が高まっている日本愛玩動物飼養管理士（2級）資格所有者を対象に、さらに理論的、科学的に理解を深め、実践的応用力を高める。同管理士1級資格取得を見据え有利な就職に資する。	(4)			(2)	(2)	(60)
	◇	動物形態機能学	安達 萌花	解剖学、生理学は獣医学の基礎であり、動物に接する仕事や動物を飼育管理する上で必要となる基礎知識を学ぶ。この科目では犬猫を中心に、動物の複雑な体の構造と機能について標本や模式図を多用しながら系統的に学ぶ。	2	2				30
	◇	寄生虫学・感染症学	安達 萌花	動物の疾病のうち、特に感染率が高く発病の多い寄生虫病とイヌ・ネコの繁殖について学ぶ。前半は寄生という生物同志の生態から、イヌ・ネコの主要な寄生虫を学ぶ。後半ではイヌ・ネコを中心に繁殖について、生理・解剖から助産までを学ぶ。またヒトの社会に受け入れられない。イヌ・ネコたちについても考える。	2	2				30
	◇	グルーミング基礎	岡田隆三郎	グルーミング作業に必要な基礎知識を（実技）講習を通して学ぶ。	2	2				30
	◇	ペットクリップ・造形学	岡田隆三郎	ペットクリップを中心に部分的なカット方法を学び独自で体型に合ったカットを創作して実習に役立てる。	2		2			30
	◇	造形美術	岡田隆三郎	実際にモデル犬を使い犬種に合ったカット方法を学び実習に役立てる。	2			2		30
	◇	グルーミング理論	岡田隆三郎	グルーミング作業においてスタンダードにそった、スタイルを理論に基づき学ぶ。	2			2		30
	◇	動物疾病看護学	亀森 泰之	動物の病気はその種類、症状だけを見ても実に多種多様である。「どんな病気があるのか?」「何が原因で、どこにどんな症状が現れるのか?」「治療法は?」といった疑問を解消すべく、犬猫を中心に病気を器官系統別に分類して理解を深める。	2	2				30
	◇	しつけ・行動理論	湯浅 倫枝	行動学の基礎をもとにトリマーとして、ペットの問題行動について飼い主から相談の多い事例について実例・実習を通して学ぶ。	2			2		30
実習科目	▲	ハンドリング実習	岡田隆三郎	トリミング実習に役立つさまざまな骨格に沿った犬体の保定とハンドラー取得試験を目標とする。	(1)			(1)	(1)	(30)
	◆	動物飼育実習Ⅰ	植田樹未仁	学内飼育動物の給餌や運動、ケージの清掃・消毒等の世話を通して、動物に慣れ親しみながら飼育・健康管理のポイントや動物の扱い方について学ぶ。	1	1	1			30
	◆	動物飼育実習Ⅱ	植田樹未仁	学内飼育動物の給餌や運動、ケージの清掃・消毒等の世話を通して、動物に慣れ親しみながら飼育・健康管理のポイントや動物の扱い方について学ぶ。また、猫飼育も実習する。	1			1	1	30
	◆	動物看護学実習	南 奈緒子	動物の看護をトリマーの視点で実践して学び応用し動物病院等の仕事に役立てる。	1	2				30
	◆	しつけ・行動実習	湯浅 倫枝	しつけ理論で学んだしつけ行動学を実際にモデル犬を使って応用しトリマーとしてのドッグトレーニングを学ぶ。	1				2	30

	授業形態	教育科目名	担当教員	科目内容	単位数	週授業時間数				時間数
						1年次		2年次		
						前期	後期	前期	後期	
実 習 科 目	◆	グルーミング実習Ⅰ	岡田隆三郎 樋田樹未仁 岡本 侑也	前期では正しい道具の使い方、動物の扱い方に慣れ、仕上げまでの細かな準備や注意点を理解し、スムーズな作業の流れを作る。	11	22				330
	◆	グルーミング実習Ⅱ	岡田隆三郎 樋田樹未仁 岡本 侑也	前期の実習を基礎にカットに細かなアレンジを加え、その犬の体型や毛質にあったカットで欠点をカバーし、オーナーの理想に近い仕上げを行う。	11		22			330
	◆	グルーミング実習Ⅲ	岡田隆三郎 樋田樹未仁 岡本 侑也	グルーミング実習Ⅰ、Ⅱで学習したペットクリップをもとに体型補正やアレンジを加えカットの完成度を高める。	12			24		360
	◆	グルーミング実習Ⅳ	岡田隆三郎 樋田樹未仁 岡本 侑也	犬種標準を理解しトリミングによってその犬種をより理想的な形で表現する。またカットの時間の短縮と完成度をさらに高める。	11				22	330
	◆	インターンシップ実習		在学中に、自分の就きたい職業を職場の一員となって体験するとり組みで、自立した社会人・職業人となるためには欠かせない実習である。また、就職指導のうえからも大きな成果を期待できる。	2			2	2	60
必要修得単位数・時間数					81	39	31	31	31	1,980
						1,050		930		

◇必修講義科目 △選択講義科目 ◆必修実習科目 ▲選択実習科目

## 講義内容

授業科目	コンピュータ演習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(後期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	頼實 一全 実務経験：ITソリューション会社勤務				
2. 授業目的	現代の情報化社会では、あらゆる分野においてコンピュータの利用は欠かせないものとなっている。本講義では、Windows、インターネット及びオフィスソフト（Word、Excel、PowerPoint）の実用的な活用方法、並びにペットビジネスの現場で役立つ情報リテラシーを習得することを目指す。				
3. 達成目標	ペットビジネスの現場に必要な書類作成やプレゼン資料作成の基本スキルを身につけると共に、情報モラルや情報セキュリティの基礎知識についても習得していく。				
4. 授業時間外に必要な学修	講義の予習・復習、課題テストに向けた自習など。				
5. テキスト	杉本くみ子・吉田栄子 共著 「30時間アカデミック 情報リテラシー Office2016」 実教出版				
6. 参考書					
7. 成績評価	出席状況（20%）、課題テスト（50%）、授業成果物（30%）の評価を基に評点を決定する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	オリエンテーション、Windows 活用（ウインドウ操作、フォルダ管理、ショートカット）				
2 回	インターネット活用（様々な情報検索、情報モラルと情報セキュリティ）				
3 回	ワープロ活用（ニュースレター作成）				
4 回	ワープロ活用（案内チラシ作成）				
5 回	ワープロ活用（長文作成）				
6 回	表計算活用（売上管理表）				
7 回	表計算活用（出荷表作成）				
8 回	表計算活用（成績表作成）				
9 回	表計算活用（販売実績グラフ作成）				
10 回	ワープロ・表計算活用（総合演習①） ※ 課題テスト①				
11 回	ワープロ・表計算活用（総合演習②） ※ 課題テスト②				
12 回	プレゼンテーション活用（自己紹介スライド作成①）				
13 回	プレゼンテーション活用（自己紹介スライド作成②）				
14 回	プレゼンテーション活用（自己紹介スライド作成③）				
15 回	プレゼンテーション活用（自己紹介スライド作成④）、講義のまとめ				
備考					

## 講義内容

授業科目	キャリアマナー I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(前期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	長澤 さおり 実務経験：元 ANA 客室乗務員／接遇コンサルタント				
2. 授業目的	‘相手に喜んでもらうことが自分の喜びとなる’ ことに、働きがい、やりがいを感じる人となることを目指す。『職業人として気持ちの良い環境創りができる力＝キャリアマナー』を学び人生の基盤を作る。				
3. 達成目標	サービス接遇検定2級対策より検定2級・3級合格を目指し、接遇者たる知識、技量を習得する。就職活動や働く際に必要なコミュニケーション能力・ビジネスマナーを習得し、実践力を高めます。				
4. 授業時間外に必要な学修	受ける側、提供する側と様々なサービスに触れその意義を考察する。				
5. テキスト	サービス接遇検定『受験ガイド2級、3級』『実問題集2級、3級』／実務技能検定協会／早稲田教育出版ホスピタリティ・マナーテキストブック／榎原陽子／一般社団法人CAネットワーク				
6. 参考書					
7. 成績評価	期末試験の評点に受講態度等を考慮して総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	オリエンテーション				
2 回	サービススタッフの資質・姿勢・お辞儀				
3 回	必要とされる要件 I				
4 回	必要とされる要件 II				
5 回	従業要件 I				
6 回	従業要件 II				
7 回	専門知識・サービ知識				
8 回	敬語・ふさわしい言葉遣い I				
9 回	敬語・ふさわしい言葉遣い II				
10 回	話し方 I				
11 回	話し方 II				
12 回	人間関係・接遇知識・服装 I				
13 回	人間関係・接遇知識・服装 II				
14 回	サービス接遇検定2級模擬試験				
15 回	期末試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	キャリアマナーⅡ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(後期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	長澤 さおり 元 ANA 客室乗務員／接客コンサルタント				
2. 授業目的	‘相手に喜んでもらうことが自分の喜びとなる’ことに、働きがい、やりがいを感じる人となることを目指す。『職業人として気持ちの良い環境創りができる力＝キャリアマナー』を学び人生の基盤を作る。				
3. 達成目標	サービス接遇検定2級対策より検定2級・3級合格を目指し、接遇者たる知識、技量を習得する。就職活動や働く際に必要なコミュニケーション能力・ビジネスマナーを習得し、実践力を高める。				
4. 授業時間外に必要な学修	受ける側、提供する側と様々なサービスに触れその意義を考察する。				
5. テキスト	サービス接遇検定『受験ガイド2級、3級』『実問題集2級、3級』／実務技能検定協会／早稲田教育出版ホスピタリティ・マナーテキストブック／榊原陽子／一般社団法人CA ネットワーク				
6. 参考書					
7. 成績評価	期末試験の評点に受講態度等を考慮して総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	金品管理・金品搬送・社交業務				
2 回	サービス接遇2、3級実問題集対策①				
3 回	サービス接遇2、3級実問題集対策②				
4 回	サービス接遇2、3級実問題集対策③				
5 回	サービス接遇2、3級実問題集対策④				
6 回	目標確認・キャリア・レポート				
7 回	ファシリテーションとは(実践)				
8 回	PDCA サイクルを回す(実践)				
9 回	自己を知る・性格フィードバック				
10 回	ホスピタリティ				
11 回	ホスピタリティ・コミュニケーション				
12 回	ビジネスマナーⅠ				
13 回	ビジネスマナーⅡ				
14 回	ビジネスマナーⅢ				
15 回	期末試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	キャリアデザイン				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(前期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	頼實 一全				
2. 授業目的	キャリアデザインとは、自分自身の職業人生やキャリアについて、自らが主体となって構想・設計し、実現していくことである。本講義では、仕事を通じて実現したい将来像やそのプロセスを明確化し、自分の能力を活かすためのキャリア形成支援から就職活動支援までを行うことを目指す。				
3. 達成目標	自分自身の職業人生やキャリアについて、自らが主体となって構想・設計し、実現していくためにどのように行動すればよいか、セルフワークやチーム学習を通じて気づき学んでいく。				
4. 授業時間外に必要な学修	講義の振り返りと気づき。				
5. テキスト	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 キャリア・サポート教材開発研究委員会 著 「未来ノート」 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団				
6. 参考書					
7. 成績評価	出席状況(15%)、授業への積極的な参加態度(10%)、未来ノート(75%)の評価を基に評点を決定する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	オリエンテーション、チーム学習を進めるために：「話し合いの意義①」				
2 回	チーム学習を進めるために：「話し合いの意義②」				
3 回	自己理解：「私の大切なもの探し」				
4 回	自己理解：「私ってどんな人？」				
5 回	自己理解：「自分を知る手がかり①」				
6 回	自己理解：「自分を知る手がかり②」				
7 回	自己理解：「過去を振り返ろう」				
8 回	自己理解：「なぜ働くの？」				
9 回	仕事理解：「地図を作ってみよう！」				
10 回	仕事理解：「ケーススタディで学ぶ実際の仕事①」				
11 回	仕事理解：「ケーススタディで学ぶ実際の仕事②」				
12 回	仕事理解：「インタビューしてみよう①」				
13 回	仕事理解：「インタビューしてみよう②」				
14 回	仕事選択：「職業理解」				
15 回	仕事選択：「未来ページ」、講義のまとめ				
備考					

## 講義内容

授業科目	RS 特別講義				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(一部学科1年次(後期))	必修	講義	2単位
1. 担当者	オムニバス形式				
2. 授業目的	学科の専門分野を超えて様々な分野のプロフェッショナルを招き、その真髄に触れることでプロとしての心構えや意識づけを行うことを目的とする。				
3. 達成目標	様々な専門分野における経験や知識の講義を受けて、プロフェッショナルに共通した考え方や感性、ものの見方を学び、それぞれの専門分野に活かす。				
4. 授業時間外に必要な学修	色々な学問分野に幅広い関心と興味を持つこと。				
5. テキスト					
6. 参考書					
7. 成績評価	毎回ごとに提出するレポートと出席状況により総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	プロの真髄 ① (心の分野)				
2 回	プロの真髄 ② (ビジネスの分野)				
3 回	プロの真髄 ③ - 1 (共生住宅の分野)				
4 回	プロの真髄 ③ - 2 (共生住宅の分野)				
5 回	プロの真髄 ④ - 1 (自然環境の分野)				
6 回	プロの真髄 ④ - 2 (自然環境の分野)				
7 回	プロの真髄 ⑤ - 1 (福祉の分野)				
8 回	プロの真髄 ⑤ - 2 (福祉の分野)				
9 回	プロの真髄 ⑥ - 1 (デザインの分野)				
10 回	プロの真髄 ⑥ - 2 (デザインの分野)				
11 回	プロの真髄 ⑦ (考古学の分野)				
12 回	プロの真髄 ⑧ - 1 (笑いの分野)				
13 回	プロの真髄 ⑧ - 2 (笑いの分野)				
14 回	プロの真髄 ⑨ (教育の分野)				
15 回					
備考					

## 講義内容

授業科目	動物飼養管理学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(通期)	必修	講義	4単位
1. 担当者	湯浅 倫枝 実務経験: 児童センター児童厚生員・公立小・中学校常勤講師				
2. 授業目的	哺乳類、鳥類、爬虫類などを含む動物の適正飼養及びペットビジネス、動物愛護の普及に関する知識、動物関係法令の修得を目標とし、同時に愛玩動物飼養管理士2級の資格取得を目標とする。				
3. 達成目標	愛玩動物飼養管理士2級の合格を目指し、愛玩動物の適正飼養や動物愛護、動物関連法令などについて理解を深める。				
4. 授業時間外に必要な学修	資格試験に向けての自主学習。				
5. テキスト	公益社団法人 日本愛玩動物協会 愛玩動物飼養管理士2級 教本/日本愛玩動物協会				
6. 参考書					
7. 成績評価	出席及び小テストなどにより、総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	飼養管理士について・動物愛護論	16 回	犬のしつけ		
2 回	人と動物の関係学	17 回	猫のしつけ		
3 回	動物関係法令	18 回	資格取得対策		
4 回	〃	19 回	〃		
5 回	〃	20 回	〃		
6 回	動物の体の仕組みと働き	21 回	〃		
7 回	動物の飼養管理	22 回	〃		
8 回	犬の飼養管理	23 回	〃		
9 回	猫の飼養管理	24 回	〃		
10 回	小動物の飼養管理	25 回	〃		
11 回	鳥類の飼養管理	26 回	〃		
12 回	〃	27 回	〃		
13 回	爬虫類の飼養管理	28 回	〃		
14 回	学習理論	29 回	〃		
15 回	犬と猫の社会化	30 回	定期試験・まとめ		
備考					

## 講義内容

授業科目	動物飼養管理学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(通期)	選択	講義	4単位
1. 担当者	奥田 宏健 実務経験：県庁勤務、総合病院勤務				
2. 授業目的	社会的期待が高まっている日本愛玩動物飼養管理士(2級)資格所有者を対象に、さらに理論的、科学的に理解を深め、産業動物および実験動物について学ぶ。同管理士1級資格取得を見据え有利な就職に資する。				
3. 達成目標	産業動物、実験動物飼養を理解し、愛玩動物飼養管理士1級を取得する。				
4. 授業時間外に必要な学修	様々な動物に接触する機会を増やし、動物を体験する。				
5. テキスト	応用動物看護学3(動物行動学/伴侶動物学/産業動物学/実験動物学/野生動物学)/監修：水越美奈/インターズー				
6. 参考書	愛玩動物飼養管理士1級教本/公益社団法人日本愛玩動物協会				
7. 成績評価	期末試験の評点に受講態度等を考慮して総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	動物愛護論Ⅱ 動物愛護運動の歴史と展望①	16回	動物の疾病とその予防 イヌ、ネコ④		
2回	動物愛護論Ⅱ 動物愛護運動の歴史と展望②	17回	動物の疾病とその予防 その他哺乳類①		
3回	動物関係法令①	18回	動物の疾病とその予防 その他哺乳類②		
4回	動物関連法令②	19回	動物学概論①		
5回	動物の行動と社会①	20回	動物学概論②		
6回	動物の行動と社会②	21回	動物学概論③		
7回	イヌとネコの栄養学①	22回	動物学概論④		
8回	イヌとネコの栄養学②	23回	動物学概論⑤		
9回	動物の遺伝と繁殖生理①	24回	動物学概論⑥		
10回	動物の遺伝と繁殖生理②	25回	動物学概論⑦		
11回	動物の疾病とその予防 総論①	26回	動物学概論⑧		
12回	動物の疾病とその予防 総論②	27回	動物学概論⑨		
13回	動物の疾病とその予防 イヌ、ネコ①	28回	動物学概論⑩		
14回	動物の疾病とその予防 イヌ、ネコ②	29回	期末試験①		
15回	動物の疾病とその予防 イヌ、ネコ③	30回	期末試験②		
備考					

## 講義内容

授業科目	動物形態機能学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(前期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	安達 萌花				
2. 授業目的	解剖学・生理学は獣医学の基礎であり、動物の飼育管理を行う上で必要な知識・技術習得に必須の科目である。動物の生体を構成する器官・組織の名称を把握し、機能と関連付けて理解する。				
3. 達成目標	動物の生体を構成する細胞・組織・器官の構造を理解し、その機能を説明できる。				
4. 授業時間外に必要な学修	毎授業前にテキストに目を通し、概略を把握しておくことが望ましい。				
5. テキスト	「動物のからだの構造と機能」 山本真理子 著 ファームプレス				
6. 参考書	「小動物臨床のための機能形態学入門」 浅野隆司 他著 インターズー 「エキゾチックアニマルの診療指針」 霍野晋吉 著 インターズー				
7. 成績評価	出席状況と授業態度、毎授業後に課すレポートの提出、期末試験などによって総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	動物形態機能学とは(体を構成する器官・組織)				
2回	染色体・DNA・RNA				
3回	体を構成する組織(上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織)				
4回	骨格系(骨の種類・機能・構造・関節)				
5回	筋肉系(1) 筋肉の種類・機能				
6回	筋肉系(2) 筋肉の構造・弛緩収縮の仕組み				
7回	神経系(1) 神経の種類・構造・機能				
8回	神経系(2) 情報伝達の仕組み				
9回	器官と器官系(1) 消化器系(口腔・咽頭・食道・胃)				
10回	器官と器官系(2) 消化器系(腸・付属消化器官)				
11回	器官と器官系(3) 泌尿器系(腎臓の形態・機能・尿が生産される仕組み)				
12回	器官と器官系(4) 呼吸器系(肺の構造・機能・呼吸の仕組み)				
13回	器官と器官系(5) 循環器系(心臓の構造・機能・血液循環の仕組み)				
14回	器官と器官系(6) 循環器系(血液の成分と働き・免疫のしくみ)				
15回	期末試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	寄生虫学・感染症学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(前期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	安達 萌花				
2. 授業目的	ペットが家族の一員として生活することが社会に認知されるに伴い、人と動物の間に生じる人獣共通感染症は生活を脅かす要因の一つである。寄生虫症や感染症について学ぶことにより、診断・治療・予防について必要な知識を身に付ける。				
3. 達成目標	各寄生虫の種類や特性、生活環を理解し、感染経路等予防について説明することができる。				
4. 授業時間外に必要な学修	毎授業前に配布資料に目を通し、概略を把握しておくことが望ましい。				
5. テキスト	資料配布				
6. 参考書	「獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠寄生虫病学」日本獣医師寄生虫学会 監修 緑書房 「小動物寄生虫鑑別マニュアル」今井社一 監修 インターズ				
7. 成績評価	出席状況と授業態度、毎授業後に課すレポートの提出、期末試験などによって総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	寄生虫総論				
2 回	線虫類 (1) 線虫類総論				
3 回	線虫類 (2) 回虫、鉤虫、糞線虫				
4 回	線虫類 (3) 鉤眼虫、糸状虫				
5 回	条虫類 (1) 条虫類総論				
6 回	条虫類 (2) 瓜実条虫、エキノコックス属条虫、マンソン裂頭条虫				
7 回	吸虫類 (1) 吸虫類総論				
8 回	吸虫類 (2) 壺形吸虫、日本住血吸虫				
9 回	原虫類 アメーバ類、鞭毛虫類、コクシジウム類				
10 回	外部寄生虫 (1) ノミ総論 ノミ媒介性感染症				
11 回	外部寄生虫 (2) ダニ総論 ダニ媒介性感染症				
12 回	感染症概論とワクチン ワクチンの種類				
13 回	犬の感染症				
14 回	猫の感染症				
15 回	期末試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	グルーミング基礎				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(前期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	岡田 隆三郎 実務経験：動物関連会社代表、グルーミングスクール勤務				
2. 授業目的	グルーミング作業に必要な基礎知識を犬体学、犬種学を座学、実技講習を通して学ぶ。				
3. 達成目標	トリミング実習に必要な犬体名称と位置関係が説明できる。骨格名称が骨格形態とともに説明ができる。バイタルサイン、体温、脈拍数、呼吸数の健康状態を説明ができる。				
4. 授業時間外に必要な学修	犬体各部のスケッチを描きグルーミングに役立てる。				
5. テキスト	プロが教えるベストトリミング、トリマーの基礎知識 第1巻、第2巻／株式会社インターズ				
6. 参考書	JKC 最新ドッググルーミングマニュアル／編集：株式会社インターズ／一般社団法人ジャパンケネルクラブ、JKC 全犬種標準書（スタンダードブック）／編集：一般社団法人ジャパンケネルクラブ／一般社団法人ジャパンケネルクラブ課題の提出内容及び期末試験の評点をもち、授業態度等含めを総合的に評価するものとする。				
7. 成績評価	出席日数、授業態度、筆記試験結果、総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	犬の体と健康				
2 回	犬体の部位名称と位置				
3 回	犬体の骨格名称とトリミングに必要な解剖学				
4 回	被毛と皮膚				
5 回	グルーミングの必要性				
6 回	主なグルーミング用具と手入れ				
7 回	グルーマーの獣医学 病気と早期発見				
8 回	ハサミの種類と構造、使い方				
9 回	犬種別グルーミング法				
10 回	グルーミングが犬に与える影響				
11 回	日常のヘアケア				
12 回	トリマーライセンスについて				
13 回	トリミング競技会について				
14 回	ドッグショーの意義と基礎知識				
15 回	期末試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	ペットクリップ・造形学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(後期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	岡田 隆三郎 実務経験：動物関連会社代表、グルーミングスクール勤務				
2. 授業目的	ペットクリップ、ショークリップの造形的な違いを講習と実際のモデル犬を使用してブラッシングシャンプー、ブロー、コーミング、カットングを見て学ばせる。				
3. 達成目標	犬体のフォルムを理解したうえで各部位の特徴的な形、被毛の厚み、モデル犬に対してのトリマーの正しい立ち位置、視線の高低、ハサミ、コームの使用角度を理解すること。				
4. 授業時間外に必要な学修	この造形学で履修したテクニックポイントを実際のグルーミング実習で正しく試し技術の刷り込みを行い一つ一つ技術を確立させていく事。				
5. テキスト	プロが教えるベストトリミング 第2巻/株式会社インターズー				
6. 参考書	JKC最新ドッググルーミングマニュアル/編集：株式会社インターズー/一般社団法人ジャパンケネルクラブ、JKC全犬種標準書 スタンダードブック/一般社団法人ジャパンケネルクラブ/一般社団法人ジャパンケネルクラブ				
7. 成績評価	出席状況、授業態度、定期試験総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	犬種別のシャンプー、ブローのポイント 平滑毛の場合 シーズー				
2回	犬種別のシャンプー、ブローのポイント 開立毛の場合 プードル				
3回	サマーカットのクリッピングポイント 実技講習編				
4回	シーズーのサマーカット				
5回	ヨークシャーテリア(超軟毛編)のプロウとクリッピングポイント				
6回	ポメラニアンスタンダード				
7回	マルチーズのスタンダード				
8回	プードル種のスタンダード				
9回	プードルのクリップスタイル				
10回	プードルのパピークリップ				
11回	プードルのイングリッシュサドルクリップ				
12回	プードルのコンチネンタルクリップ				
13回	プードルのセカンドパピークリップ スカンジナビアンクリップ				
14回	プードルのケネル&ラムクリップ				
15回	テスト				
備考					

## 講義内容

授業科目	造形美術				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(前期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	岡田 隆三郎 実務経験：動物関連会社代表、グルーミングスクール勤務				
2. 授業目的	1年次で学び習得した知識と基本技術を柱にグルーミングが嫌いな嘔み癖、精神的に不安定な犬腰、膝に負担のあるシニア犬、等に対応できる実践的な技術を講義を等して学ぶ。				
3. 達成目標	時間の制約の中お客様の要望に沿ったグルーミングができ且つモデル犬に負担が最小限の作業を目指す事を目標とする。				
4. 授業時間外に必要な学修	1年次で学び経験してきた技術、知識をグルーミング授業とゆう実践的な場で試してきていることでできていないことを確認する。				
5. テキスト	プロが教えるベストトリミング 第2巻/株式会社インターズー				
6. 参考書	ジャパンケネルクラブ最新ドッググルーミングマニュアル/株式会社インターズー/一般社団法人ジャパンケネルクラブ				
7. 成績評価	定期試験の結果、出席状況、授業態度、総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	グルーミングの嫌いな犬の保定ポイント クリッピング編 ケネル&ラムクリップ				
2回	犬種学(スタンダード)の解説 プードル編 ケネル&ラムクリップ				
3回	犬種学(スタンダード)の解説 プードル編 マイアミクリップ				
4回	犬種学(スタンダード)の解説 プードル編 テディベアクリップ				
5回	犬種学(スタンダード)の解説 アメリカンコッカースパニエル スタンダード				
6回	犬種学(スタンダード)の解説 ミニチュアシュナウザー スタンダード				
7回	犬種学(スタンダード)の解説 ウェストハイランドホワイトテリア スタンダード				
8回	犬種学(スタンダード)の解説 ポメラニアン スタンダード				
9回	犬種学(スタンダード)の解説 ヨークシャーテリア スタンダード				
10回	犬種学 トリマーライセンステスト 対策講義 ケネル&ラムクリップ1				
11回	犬種学 トリマーライセンステスト 対策講義 ケネル&ラムクリップ2				
12回	犬種学 トリマーライセンステスト 対策講義 ケネル&ラムクリップ3				
13回	犬種学 トリマーライセンステスト 対策講義 ケネル&ラムクリップ4				
14回	犬種学 トリマーライセンステスト 対策講義 ケネル&ラムクリップ5				
15回	定期試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	グルーミング理論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(後期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	岡田 隆三郎 実務経験：動物関連会社代表、グルーミングスクール勤務				
2. 授業目的	犬種各々が持つ理想像をグルーミング、トリミングに反映出来るようにスタンダードブック(犬種標準書)を解りやすく解説して各ペットクリップに応用する。				
3. 達成目標	各犬種のスタンダードを各部位に分けて説明ができる。グルーミング実習でモデル犬の体型に対してスタンダードで学んだことをバランス良く表現できる。				
4. 授業時間外に必要な学修	JKCスタンダードブックの各犬種の本読みで予習をし疑問な箇所を書き留めておく。				
5. テキスト	ジャパンケネルクラブ 最新ドッググルーミングマニュアル/編集：株式会社インターズー/一般社団法人ジャパンケネルクラブ				
6. 参考書					
7. 成績評価	定期試験、出席状況、授業態度で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	トリミング犬種をスタンダードの理論を照らし合わせ実習に役立てる。				
2回	ブードルのスタンダードをモデル犬と比べJKCライセンステストに役立てる。(実技講習)				
3回	〃				
4回	〃				
5回	〃				
6回	〃				
7回	〃				
8回	〃				
9回	〃				
10回	〃				
11回	〃				
12回	〃				
13回	〃				
14回	〃				
15回	定期試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	動物疾病看護学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(前期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	亀森 泰之				
2. 授業目的	動物を取り扱う専門家として最低限知っておくべき動物の病気について、その種類、原因、症状を学ぶとともに、動物の取り扱いや予防方法などを学ばせる。				
3. 達成目標	疾病により機能障害を持つ動物に対して、どのような内容の看護を提供すべきかを導き出せるよう看護の知識を身に付けさせる。				
4. 授業時間外に必要な学修	動物病院などへのインターンシップに積極的に参加し、知見を広める。				
5. テキスト	イラストでみる犬の病気 小野憲一郎他 講談社				
6. 参考書	コンパニオン・アニマルの看護技術学 浅野妃美・浅野隆司 共著 インターズー				
7. 成績評価	期末試験の評点に受講態度等を考慮して総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	動物の看護について				
2回	保定法				
3回	投薬法				
4回	注射法				
5回	輸液法				
6回	神経系・眼の病気				
7回	呼吸器の病気				
8回	消化器の病気				
9回	泌尿器の病気				
10回	血液の病気				
11回	皮膚の病気				
12回	入院動物の看護				
13回	子猫や子犬の看護				
14回	老猫や老犬の看護				
15回	定期試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	しつけ・行動理論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(前期)	必修	講義	2単位
1. 担当者	湯浅 倫枝 実務経験：児童センター児童厚生員・公立小・中学校常勤講師				
2. 授業目的	科学的な根拠に基づいた犬の行動学を学び、犬に対する理解を深める。				
3. 達成目標	実践の場で、犬の行動学に基づいて犬を扱うことができるようになる。				
4. 授業時間外に必要な学修	学内飼育動物や身近な動物について、行動学をふまえた視点で動物の行動を考察してみる。				
5. テキスト	JKC 全犬種標準書／編集：一般社団法人ジャパンケネルクラブ／一般社団法人ジャパンケネルクラブ				
6. 参考書					
7. 成績評価	定期試験及び出席などで総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	犬の家畜化と犬種について				
2 回	〃				
3 回	〃				
4 回	犬のコミュニケーション				
5 回	〃				
6 回	子犬の成長と社会化				
7 回	パピーレッスン				
8 回	〃				
9 回	〃				
10 回	学習理論				
11 回	〃				
12 回	犬の問題行動				
13 回	〃				
14 回	〃				
15 回	定期試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	ハンドリング実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(前期)	選択	実習	1単位
1. 担当者	岡田 隆三郎 実務経験：動物関連会社代表、グルーミングスクール勤務				
2. 授業目的	トリミング実習に役立つスタック、ドッグショーで行うハンドリングマナーの習得、またジャパンケネルクラブ公認ハンドラーライセンス取得を目指す。				
3. 達成目標	トリミングテーブル上の各犬種の正しい姿勢を学びモデル犬に負担を最小限に作業を終了させること、また犬種スタンダードを理解した上でのショーイング。				
4. 授業時間外に必要な学修	定期的なハンドリング犬のグルーミング、ベーシック作業を行うことで信頼関係を育む。				
5. テキスト	ジャパンケネルクラブ ハンドリングマニュアル（公認ハンドラー教本）／編集：オネストワン／一般社団法人ジャパンケネルクラブ				
6. 参考書					
7. 成績評価	実技テスト出席状況など総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	ハンドリングとドッグショーの歴史				
2 回	犬の解剖学（解剖学）知ってハンドリングしよう。				
3 回	ドッグショーで審査員は何を見て評価しているのか。				
4 回	リードの使い方（リードワーク）・種類、歩様、歩行の解説。				
5 回	ハンドリングマナー初級編（審査を受けるマナー）				
6 回	ハンドリング試験とハンドリング実習				
7 回	ハンドリング実習				
8 回	ハンドリング実習				
9 回	ハンドリング実習				
10 回	ハンドリング実習				
11 回	ハンドリング実習				
12 回	ハンドリング実習				
13 回	ハンドリング実習				
14 回	ハンドリング実習				
15 回	実技テスト				
備考					

## 講義内容

授業科目	動物飼育実習Ⅰ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(通期)	必修	実習	1単位
1. 担当者	樋田 樹未仁 実務経験：動物病院・ペットサロン勤務				
2. 授業目的	学内飼育動物の給餌や運動、ケージの清掃・消毒等の世話を通して、動物に慣れ親しみながら飼育・健康管理のポイントや扱い方を学ぶ。				
3. 達成目標	動物種の行動や習性・食性に応じて、それぞれに適切な飼育環境と管理を行うことができること。				
4. 授業時間外に必要な学修	さまざまな動物の種類・品種を覚える。				
5. テキスト	必要に応じて、プリント・資料等を配布する。				
6. 参考書					
7. 成績評価	期末試験、出席により総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	学内飼育動物の世話と管理				
2回	〃				
3回	〃				
4回	〃				
5回	〃				
6回	〃				
7回	〃				
8回	〃				
9回	〃				
10回	〃				
11回	〃				
12回	〃				
13回	〃				
14回	〃				
15回	〃				
備考					

## 講義内容

授業科目	動物飼育実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(通期)	必修	実習	1単位
1. 担当者	樋田 樹未仁 実務経験：動物病院・ペットサロン勤務				
2. 授業目的	動物飼育実習Ⅰで学んだ飼育・健康管理を応用し動物に応じた飼育・健康管理を学ぶ。また集団管理において重要となる感染症予防について学ぶ。				
3. 達成目標	学内飼育動物それぞれの種類による飼育管理方法を学び、実践する。				
4. 授業時間外に必要な学修	さまざまな動物の種類・品種を覚える。				
5. テキスト	必要に応じて、プリント・資料等を配布する。				
6. 参考書					
7. 成績評価	期末試験、出席により総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	学内飼育動物の世話と管理				
2回	〃				
3回	〃				
4回	〃				
5回	〃				
6回	〃				
7回	〃				
8回	〃				
9回	〃				
10回	〃				
11回	〃				
12回	〃				
13回	〃				
14回	〃				
15回	〃				
備考					

## 講義内容

授業科目	動物看護学実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(前期)	必修	実習	1単位
1. 担当者	南 奈緒子 実務経験：動物病院勤務				
2. 授業目的	動物疾病看護学など、講義で学んだ動物看護技術を実践を通して身につけ、動物看護の知識を深める。				
3. 達成目標	動物の保定、身体検査などの各種臨床検査方法、デンタルケア方法など、動物飼育の基本となる看護技術を身につけ、動物の健康管理に役立てること。				
4. 授業時間外に必要な学修	授業で学んだ技術を使って、身の回りの動物の健康管理に役立てることで、技術力を高める。				
5. テキスト	動物看護実習テキスト／編集：山下真理子ほか／インターズー				
6. 参考書					
7. 成績評価	期末試験と出席状況、授業態度により総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	動物の看護について				
2 回	保定方法①				
3 回	保定方法②				
4 回	保定具の種類と装着方法				
5 回	身体検査とバイタルチェック①				
6 回	身体検査とバイタルチェック②				
7 回	寄生虫の種類と予防方法				
8 回	薬の調剤と投薬方法①				
9 回	薬の調剤と投薬方法②				
10 回	歯科疾患の予防とデンタルケア方法				
11 回	臨床検査で使用する器具の種類と扱い方				
12 回	便検査方法				
13 回	尿検査方法				
14 回	総まとめ				
15 回	期末試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	しつけ・行動実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(後期)	必修	実習	1単位
1. 担当者	湯浅 倫枝 実務経験：児童センター児童厚生員・公立小・中学校常勤講師				
2. 授業目的	犬の飼い主に適切なアドバイスができるように、犬の扱い方について犬の行動学に基づいたトレーニング技術を学ぶ。				
3. 達成目標	犬を適切に扱うことができ、行動学に基づいたトレーニングができるようになる。				
4. 授業時間外に必要な学修	学内飼育動物や身近な動物の飼育、しつけトレーニングでの応用実践を行う。				
5. テキスト					
6. 参考書					
7. 成績評価	定期試験及び出席などで総合的に評価する				
授業内容とスケジュール					
1 回	子犬のトレーニング				
2 回	〃				
3 回	〃				
4 回	〃				
5 回	成犬のトレーニング				
6 回	〃				
7 回	〃				
8 回	〃				
9 回	〃				
10 回	〃				
11 回	〃				
12 回	老犬の体のサポート				
13 回	〃				
14 回	〃				
15 回	定期試験				
備考					

## 講義内容

授業科目	グルーミング実習Ⅰ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(前期)	必修	実習	11単位
1. 担当者	岡田 隆三郎、榎田 樹未仁、岡本 侑也				
2. 授業目的	前期では正しいベーシック方法、ブラシ、コムなどの道具の使い方、モデル犬に対する正しい保定法、正しいシャンプー法、ドライイング法を徹底する。				
3. 達成目標	モデル犬の年齢や体調に留意できること、グルーミングとは動物の命を預かっていることをしっかりと意識して作業が行えること。				
4. 授業時間外に必要な学修	ハサミなどの道具の正しい動かし方を自主的に練習する。				
5. テキスト	プロが教えるベストトリミング 第1巻/株式会社インターズー プロが教えるベストトリミング 第2巻/株式会社インターズー				
6. 参考書	ジャパンケネルクラブ 最新ドッググルーミングマニュアル/編集:株式会社インターズー/ 一般社団法人ジャパンケネルクラブ				
7. 成績評価	出席、実習態度で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	グルーミング前の健康チェックからはじめよう。				
2回	正しいベーシック作業実習 大型犬 小型犬				
3回	〃				
4回	〃				
5回	〃				
6回	〃				
7回	〃				
8回	〃				
9回	〃				
10回	〃				
11回	〃				
12回	〃				
13回	〃				
14回	〃				
15回	〃				
備考					

## 講義内容

授業科目	グルーミング実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	1年次(後期)	必修	実習	11単位
1. 担当者	岡田 隆三郎、榎田 樹未仁、岡本 侑也				
2. 授業目的	前期のグルーミング実習で学んだ細やかなシャンプーを犬の負担を少なく出来るように時間の意識を考えてグルーミングする。				
3. 達成目標	一人で1頭の犬を肌からシャンプーできて、ムラなくドライイング出来る。犬のイヤークリーニングとネイルカットを犬に負担なく行える。				
4. 授業時間外に必要な学修	グルーミングの座学でネイルカット、イヤークリーニングの保定法を参考にする。				
5. テキスト	プロが教えるベストトリミング 第1巻/株式会社インターズー				
6. 参考書	JKC 最新ドッググルーミングマニュアル/編集:株式会社インターズー/一般社団法人ジャパンケネルクラブ				
7. 成績評価	出席状況、授業態度を総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	大型犬から小型犬のベーシック実習				
2回	〃				
3回	〃				
4回	〃				
5回	〃				
6回	〃				
7回	〃				
8回	〃				
9回	〃				
10回	〃				
11回	〃				
12回	〃				
13回	〃				
14回	〃				
15回	実技テスト				
備考					

## 講義内容

授業科目	グルーミング実習Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(前期)	必修	実習	12単位
1. 担当者	岡田 隆三郎、榎田 樹未仁、岡本 侑也				
2. 授業目的	グルーミング実習Ⅰ、Ⅱで学んできたペットクリップをもとに体型補正やアレンジを加えカットの完成度を高める。				
3. 達成目標	カット犬種をお客様にお返しできるほどのグレードに仕上げるほどの技術に高めていくこと。				
4. 授業時間外に必要な学修	グルーミングの座学でのカット実技講習で見る訓練を行う、またカットの仕上げを行っている先生のカットポイントを見て、また至らなかった修正部分を聞く。				
5. テキスト	JKC最新ドッグ グルーミングマニュアル／編集：株式会社インターズー／一般社団法人ジャパンケネルクラブ				
6. 参考書	プロが教えるベストトリミング 第2巻／株式会社インターズー				
7. 成績評価	出席、実習態度で総合的に評価を行う。				
授業内容とスケジュール					
1回	カット犬種のベシツクから仕上げ作業の実践 犬種によっての毛質、毛量、体型をもとにバランスの良いスタイルを考える(ブードル、シーズー、マルチーズ等)				
2回	〃				
3回	〃				
4回	〃				
5回	〃				
6回	〃				
7回	〃				
8回	〃				
9回	〃				
10回	〃				
11回	〃				
12回	〃				
13回	〃				
14回	〃				
15回	〃				
備考					

## 講義内容

授業科目	グルーミング実習Ⅳ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(後期)	必修	実習	11単位
1. 担当者	岡田 隆三郎、榎田 樹未仁、岡本 侑也				
2. 授業目的	作業の速さだけでなくお客様の要望に沿ったトリミング、または高齢犬の健康に気遣った優しいトリミングを自ら考えて授業で実践していく。				
3. 達成目標	ペットサロンのカットクオリティーに近づけることを目標とする。				
4. 授業時間外に必要な学修					
5. テキスト	JKC最新ドッググルーミングマニュアル／編集：株式会社インターズー／一般社団法人ジャパンケネルクラブ				
6. 参考書	プロが教えるベストトリミング 第2巻／株式会社インターズー				
7. 成績評価	実技テスト、出席、授業態度で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	主なカット犬種の仕上げ作業の実践、テディベアカットのカットバリエーションを学ぶ。				
2回	〃				
3回	〃				
4回	〃				
5回	〃				
6回	〃				
7回	〃				
8回	〃				
9回	〃				
10回	〃				
11回	〃				
12回	〃				
13回	〃				
14回	〃				
15回	実技テスト				
備考					

## 講義内容

授業科目	インターンシップ実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	トリミング学科	2年次(通年)	必修	実習	2単位
1. 担当者	チューター、就職課、インターンシップ実習先の担当者。				
2. 授業目的	就職希望先、トリミングサロン、ペットショップ、総合ペットショップ、等 原則1週間の実習を行い実際の仕事と社会体験を通じ即戦力となる経験を積む。				
3. 達成目標	具体的な就職先を絞り、それまでに学んできた技術知識をインターンシップ実習先にアピールして就職につなげる。				
4. 授業時間外に必要な学修	就職課の先生やインターネット、専門誌などで情報を得て就職したい企業を探しておきあらかじめ訪れておくなど下調べをしておく。				
5. テキスト					
6. 参考書					
7. 成績評価	インターンシップ先の担当者からの評価表と報告書などの提出によって総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
	インターンシップ希望者と受け入れて頂く先とのスケジュール調整の上随時実施する。				
備考					